

## ◆ 今週のコメント

- ・ 細菌性赤痢の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は下痢、淡血性便です。推定感染地域は国外(カンボジア、ミャンマー、ベトナム)で、推定感染経路は経口感染です。
- ・ A型肝炎の報告が1例(30歳代男性)があり、症状は全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝腫大です。推定感染地域は国外(バングラデシュ)で、推定感染経路は経口感染です。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(50歳代男性)あり、症状は粘血便です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は性的接触(異性間)です。
- ・ 急性脳炎の報告が1例(10歳未満男性)あり、症状は発熱、痙攣、意識障害です。本年初めての報告となっています。
- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は発熱、肺炎、菌血症です。本年初めての報告となっています。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は20.48(1,413例)で、前週29.04(2,004例)よりも減少しましたが、警報レベルを超える行政区もあり、引き続き注意が必要です。

## ◆ 今週のトピックス:<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は京都市で0.95と、過去5年平均値を下回っているものの、5週連続で増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 10例(肺結核 5例、その他結核 1例、潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 3例  
【1月以降の累積報告数 38例(肺結核 24例、その他結核 3例、潜在性結核感染者 11例)うち喀痰塗抹陽性 11例】
- ・ 三類:細菌性赤痢(フレキシネル(B群)) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 10例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症) 2例【1月以降の累積報告数 5例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69、小児科定点42、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	20. 48	1, 413
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3. 40	143
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 95	40
	③ 突発性発しん	0. 26	11
	③ 流行性耳下腺炎	0. 26	11
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 19	8
眼科	流行性角結膜炎	0. 70	7

### 【次ページ以降の主な内容】

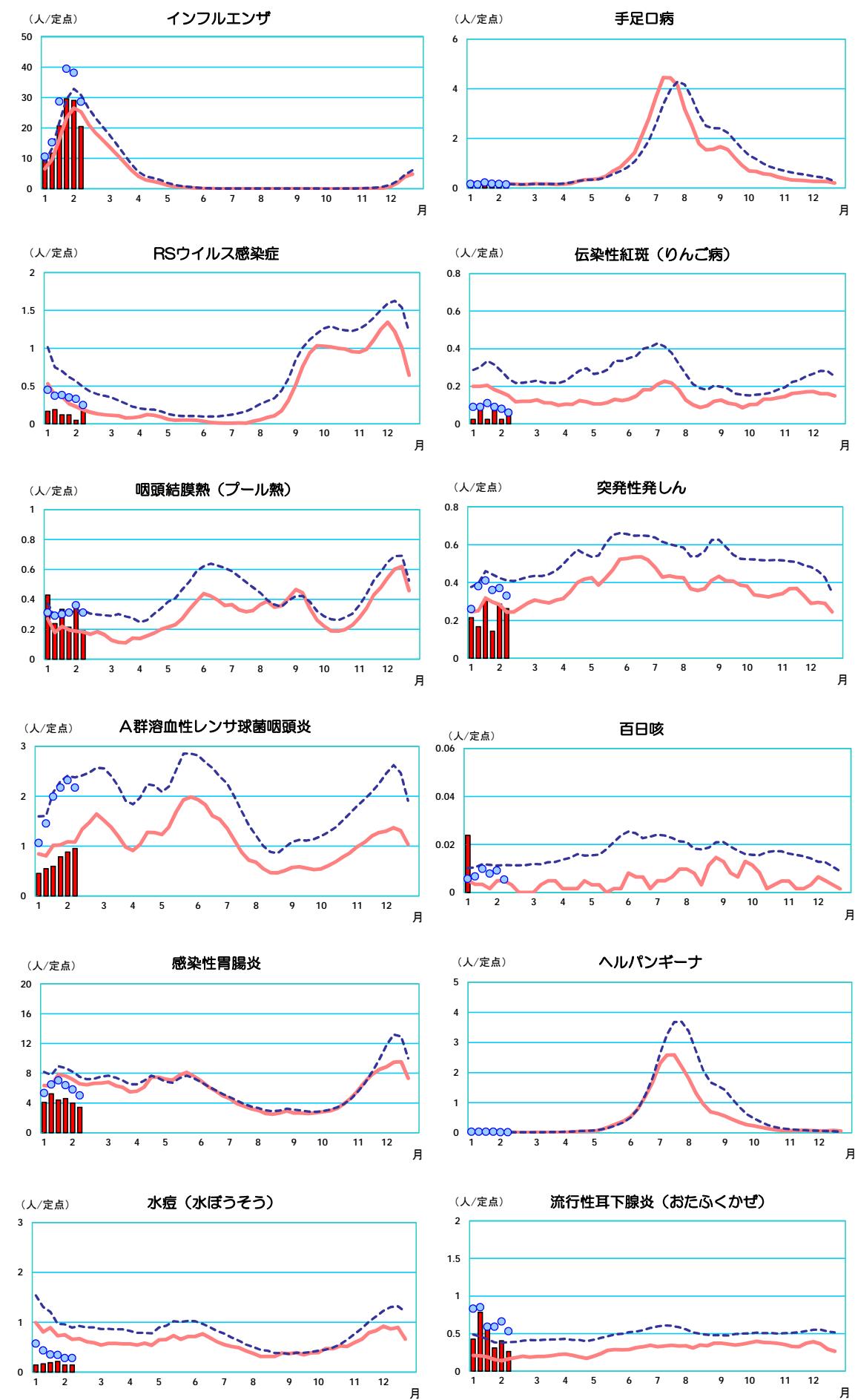
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成29年2月15日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

## インフルエンザ 及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）

京都市\_本年 京都市\_過去5年平均値  
全国\_本年 全国\_過去5年平均値



## 第6週(2月6日～2月12日)トピックス：<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は京都市で0.95と、過去5年平均値を下回っているものの、5週連続で増加しています(図1)。全国の定点当たり報告数は2.17で、過去5年平均値と同様の動向を示しています。例年冬～春に流行していることや、現状と過去の発生動向を踏まえると、今後、増加することが予想されますので、注意が必要です。本市の年齢階級別割合では、例年、9歳以下で全報告数の80%前後を占めており、本年も同様の傾向となっています(図2)。

本疾患の感染経路は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによって感染する「飛沫感染」と、手指を介して感染する「接触感染」です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感を発症し、しばしば嘔吐を伴います。皮膚に赤い発疹や舌にいちご状の発赤(いちご舌)が現れることがあります。患者の多くが9歳以下であることや、感染経路から、保育施設や学童施設等での流行が懸念されます。下記の予防方法を徹底し、感染予防に努めましょう。

治療には抗生素質が有効です。ただし、自己判断で服用を中止すると腎炎などの合併症を起こすことがありますので、医師の指示に従い、最後まできちんと服用しましょう。また、のどの痛みがひどい場合は、のどに刺激の少ない、柔らかい薄味の食事にしましょう。食べるのがつらいようでしたら、水分だけでもしっかりと摂るようにし、水分補給を心掛けましょう。

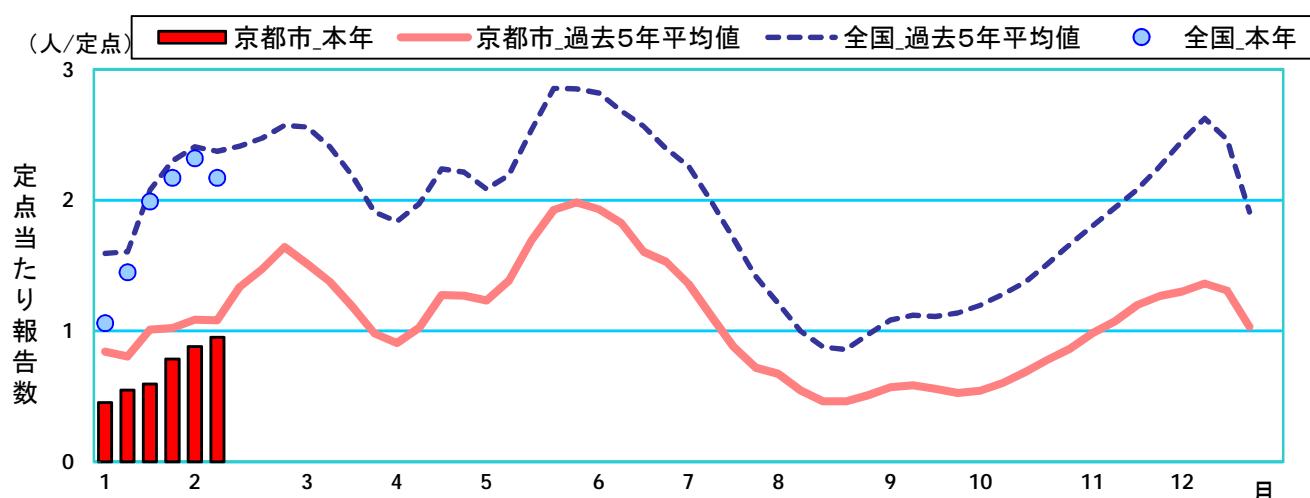
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の予防のために

- 症状がある人とは密接な接触を避けましょう。
- 症状の有無に関わらず、咳やくしゃみをするときは咳エチケットを心掛けましょう。
- 正しい手洗い(下記参照)、手指消毒、うがいを行いましょう。

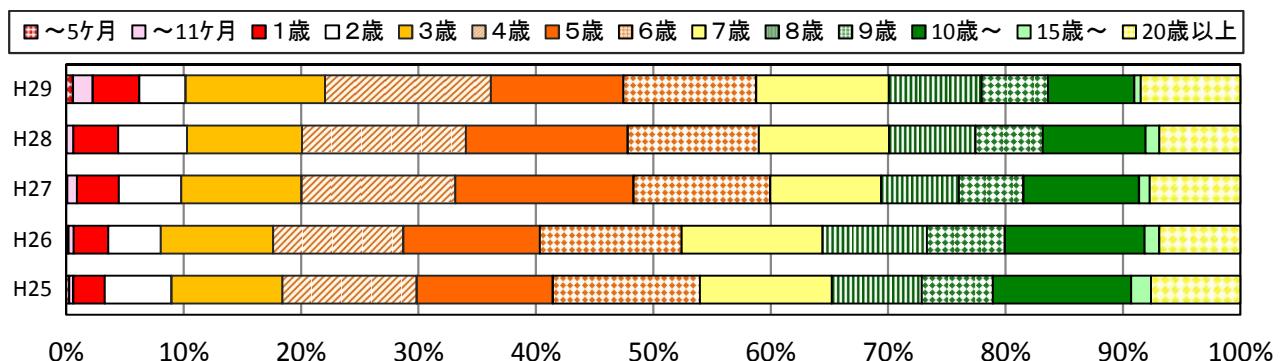


【京都市情報館「手あらいの方法」】  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

(図1)京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)京都市の年齢階級別割合



\*平成29年は第6週までの報告数に基づく

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第6週

疾病,行政区別報告数

平成29年2月6日～平成29年2月12日

データ入手日:平成29年2月15日

	インフルエンザ （※ <sup>1</sup> ）	R Sウイルス 感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎（※ <sup>2</sup> ）	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※ <sup>3</sup> ）	感染性胃腸炎（※ <sup>4</sup> ）
男女合計																			
北	76	-	1	2	8	-	-	-	1	-	-	1	-	3					
上京	79	-	-	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	178	-	1	6	22	-	-	-	1	-	3	1	-	-					
中京	59	-	-	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東山	59	3	-	1	21	1	-	-	1	-	-	-	-	-					
山科	194	3	-	2	1	2	2	-	2	-	-	4	-	2					
下京	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	190	-	-	7	7	-	-	-	1	-	-	1	-	-					
右京	203	1	2	8	20	-	1	1	1	-	-	-	-	-					
伏見	207	-	3	2	41	1	-	2	4	-	-	2	-	1					
西京	145	-	1	6	13	1	-	-	-	-	-	2	-	-					
京都市計	1,413	7	8	40	143	6	3	3	11	-	3	11	-	7	-	-	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ （※ <sup>1</sup> ）	R Sウイルス 感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎（※ <sup>2</sup> ）	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※ <sup>3</sup> ）	感染性胃腸炎（※ <sup>4</sup> ）
男女合計																			
北	10.86	-	0.25	0.50	2.00	-	-	-	0.25	-	-	0.25	-	3.00					
上京	15.80	-	-	2.00	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	25.43	-	0.25	1.50	5.50	-	-	-	0.25	-	0.75	0.25	-	-					
中京	11.80	-	-	-	2.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	
東山	19.67	1.50	-	0.50	10.50	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-					
山科	27.71	0.75	-	0.50	0.25	0.50	0.50	-	0.50	-	-	1.00	-	2.00					
下京	7.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	38.00	-	-	2.33	2.33	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-					
右京	25.38	0.20	0.40	1.60	4.00	-	0.20	0.20	0.20	-	-	-	-	-					
伏見	18.82	-	0.43	0.29	5.86	0.14	-	0.29	0.57	-	-	0.29	-	0.50					
西京	18.13	-	0.20	1.20	2.60	0.20	-	-	-	-	-	0.40	-	-					
京都市計	20.48	0.17	0.19	0.95	3.40	0.14	0.07	0.07	0.26	-	0.07	0.26	-	0.70	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1について含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象: 平成29年第6週

年齢階級、疾病別報告数

平成29年2月6日～平成29年2月12日

データ入手日: 平成29年2月15日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳 1歳 1歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	1,413	6	19	44	69	60	87	61	89	60	75	69	204	85	96	96	105	61	64	30	33
インフルエンザ(※1)	年齢1	7	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢2	8	-	-	1	2	1	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢3	40	-	-	3	1	3	6	3	3	9	3	1	3	1	4	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	143	1	6	13	8	17	9	18	4	5	8	4	17	4	29	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	6	1	-	-	-	-	-	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢2	3	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢4	11	-	5	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢4	11	-	-	-	-	-	1	1	3	1	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	1	-	-	-	-
細菌性齧膜炎(※2)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性齧膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級、疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳 1歳 1歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上	
男女合計	年齢1	20.48	0.09	0.28	0.64	1.00	0.87	1.26	0.88	1.29	0.87	1.09	1.00	2.96	1.23	1.39	1.39	1.52	0.88	0.93	0.43	0.48	
インフルエンザ(※1)	年齢2	0.17	0.05	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.19	-	-	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢4	0.95	-	-	0.07	0.02	0.07	0.14	0.07	0.07	0.21	0.07	0.02	0.07	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	3.40	0.02	0.14	0.31	0.19	0.40	0.21	0.43	0.10	0.12	0.19	0.10	0.40	0.10	0.69	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢2	0.14	0.02	-	-	-	-	-	0.07	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	0.07	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢4	0.26	-	0.12	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢1	0.07	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢2	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢4	0.07	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢1	0.26	-	-	-	-	0.02	0.02	0.07	0.02	0.05	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢3	0.70	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.40	0.10	-	-	-	-	-
細菌性齧膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性齧膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1について含む。

※2 細菌性齧膜炎は齧膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第6週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年2月15日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	651	809	1,427	2,042	2,004	1,413
RSウイルス感染症	7	8	5	5	2	7
咽頭結膜熱	18	10	14	9	16	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	23	25	33	37	40
感染性胃腸炎	172	219	185	193	168	143
水痘	6	7	8	9	6	6
手足口病	6	2	11	10	5	3
伝染性紅斑	1	4	1	3	1	3
突発性発しん	9	7	13	6	12	11
百日咳	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	1	2	1	1	3
流行性耳下腺炎	18	33	26	13	17	11
急性出血性結膜炎	-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	3	3	6	5	7
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	1	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	913	1,127	1,720	2,330	2,275	1,655

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	9.43	11.72	20.68	29.59	29.04	20.48
RSウイルス感染症	0.17	0.19	0.12	0.12	0.05	0.17
咽頭結膜熱	0.43	0.24	0.33	0.21	0.38	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45	0.55	0.60	0.79	0.88	0.95
感染性胃腸炎	4.10	5.21	4.40	4.60	4.00	3.40
水痘	0.14	0.17	0.19	0.21	0.14	0.14
手足口病	0.14	0.05	0.26	0.24	0.12	0.07
伝染性紅斑	0.02	0.10	0.02	0.07	0.02	0.07
突発性発しん	0.21	0.17	0.31	0.14	0.29	0.26
百日咳	0.02	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	0.02	0.05	0.02	0.02	0.07
流行性耳下腺炎	0.43	0.79	0.62	0.31	0.40	0.26
急性出血性結膜炎	-	0.10	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.30	0.30	0.60	0.50	0.70
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	-	1.00	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	16.95	19.60	27.89	36.91	36.85	26.77

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1について含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。